

小学校 高 学年< 6 - (3) >

学 年	6 年	時 間	短学活（帰りの会等の活用） 「家具の配置と固定の工夫」	時 期	1 1 月ごろ 理科「大地・」と関連付け	時 数	2 0 分～ 2 5 分
目 標	・家具等の配置や固定の工夫をすることにより、地震時の家具の転倒・落下やそれに伴う人命危険を減らせることを知り、部屋の中の整理整頓とともに家具の配置・固定の工夫をすることができるようにする。						
資料・準備	総務省消防庁「チャレンジ防災48」の映像25「家の中の揺れの様子」、 ワークシート「家ぐはいち書きこみシート」「書き込み例」（事前に宿題で書かせておく）、 家具の固定の工夫資料						

展開

	学習活動と内容	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)</p> <p>1 地震が起きたとき、どのくらい危険か想像する。 ◇地震が起きたときの「家の中の様子」を見ましよう。</p>	<p>○「チャレンジ防災48」の映像25の中の「地震で揺れる家の中のようす」(リビング、寝室、キッチン)の映像を見せる。</p>
展 開	<p>2 自分の家の大まかな間取りと、それぞれの部屋の家具等が置かれた様子を書き込んできたワークシートを見て、地震が起きたときのことを想像する。</p> <p>◇自分の家の大まかな間取りと、それぞれの部屋の家具等が置かれた様子、特に自分が普段生活に使っている部屋(たとえば、寝る部屋、食事する部屋、テレビを見る部屋、勉強する部屋 等)の様子を書き込んできたワークシートを見て考えましよう。</p> <p>◇家にいるときに地震に遭った場合、どのような危険があるか、気づいたことを ふせん(メモ)に書き出しましよう。</p> <p>◇家具の配置や向きを替えたりすると、どのように自分の身を守るか、また、どの家具を固定すればいいか考え、話し合ってみましよう。</p> <p>◇気がついたことを発表しましよう。</p>	<p>○事前に宿題で書いてきたワークシートを見ながら考えさせる。特に自分が生活に使っている部屋について家具等の様子をもう一度確認させる。</p> <p>○5年家庭科で扱っている場合は、あまり時間をかけなくても書いてきているだろうが、家具の大きい物ばかりでなく、置いてある物や家具等に乘せてある物などの様子も、できるだけ最近の様子について書き込んであるか確認させる。</p> <p>☆自分の自分が普段生活に使っている部屋の家具の様子が書けているか。</p> <p>○教師は、一人一人の書き出しの様子を見て、それぞれに支援する。</p> <p>○家具等の倒れる向きを考えさせるなど、自分や家族に家具や物が倒れたり落ちたり移動したりしてこないよう考えさせる。</p> <p>○班または隣の席の人とのペアで話し合わせ、気がついたことを発表させる。</p> <p>☆家具が地震の揺れで倒れる状況等を想像し、自分や家族の身を守る家具等の配置と固定について考えることができたか。</p>
ま と め	<p>3 自分の生活する部屋の家具や物の安全な配置について確認し、自分にできることを考える。</p> <p>◇自分や家族の身を守るための家具や物の配置と固定について、自分にできることは何か考え、見つけたことを発表しましよう。</p>	<p>○今日の学習から、自分に何ができるか考えさせ発表させることにより、自分でできることを実行しようとする意欲を高めさせたい。</p> <p>○書き込んだワークシートと「家具の配置・固定の工夫」の資料を持ち帰らせ、家庭で考えてもらう材料とする。</p>

関連する 教科・領域等	
協力団体	